

「景観」ってなあに？

景観とは「地形・自然・都市など視覚で認識できるものの他に、地域の特色や歴史・文化など、そこにある人々の営みによって形成された景色、風景を総合して捉えることができるもの」のことです。

この「景観」に似た言葉で「風景」がありますが、風景は、見る人の経験や感性などによって、印象やイメージが異なって見えるものとされています。これに対して「景観」は客観性、科学性のある情報であるといえます。

なぜ、今、景観なの？

戦後の急激な都市化の中、歴史や風土に培われてきた地域ごとの生きる知恵や楽しさや文化の特性などが急速に失われ、日本全国が画一的な景観となり、地域ごとの特色ある景観が失われてきました。これら人工的につくられた都市景観は、四季折々に美しい変化をみせる自然に比べて著しく見劣りします。

これらを反省し、この国土を国民一人ひとりの資産として、わが国の美しい自然との調和を図りつつ整備し、次の世代に引き継ぐという理念の下、「美しい国づくり政策大綱」のひとつである「景観法」が平成17年6月施行されました。

本市の景観に対する取組み

本市は、平成19年4月1日に景観法に規定される「景観行政団体」になりました。これを受けて、本市は「薩摩川内市ふるさと景観計画」の策定に向けて取り組んでまいりました。

平成21年4月1日に「薩摩川内市ふるさと景観計画」の一部施行を行い、平成21年10月1日に本格施行します。